

2023年1月吉日

関係者各位

東京博善株式会社

「2023年2月、3月の変動型・火葬料別料金」と「東京博善係数の内訳並びに変更」について

平素は弊社各斎場の運営に関しまして、格別なるご高配を賜り誠にありがとうございます。

さて、お問い合わせがあった東京博善係数（以下「係数」と言います。）の考え方につきまして、その内容を説明いたします。

併せて、昨年6月より弊社が、従前の火葬料金とは別に設定をしておりますガス・電気料金の高騰による「燃料調整費に沿ったサーチャージ型の変動型料金 名称:燃料費特別付加火葬料（以下「本サーチャージ」と言います。）」につきまして、2023年2月分、3月分のご收受分を下記の通りご案内いたします。

第1 係数の見直しの経緯について

1 ガス及び電気の係数

昨今、ガス及び電気の原料費が高騰し、ガス及び電気の代金に係る調整単価の平均値が上昇することによって、当社における原価も上昇しています。

すなわち、ガス会社が「一般家庭向けの単位料金調整額」を公開していますところ（URL：<https://www.tokyo-gas.co.jp/news/press/20221129-02.html>）、2021年の各月の「一般家庭向けの単位料金調整額」の平均値は-2.05円であります。もっとも、2022年はこの価格が高騰しており、対象期間の調整費（例：2022年10月 40.18円、2022年11月 49.71円の場合、平均である44.96円を調整費とします。）との差額分、1m³当たりの原価が上昇いたします。

この1m³当たりのガスの原価は、あくまで「一般家庭向けの単位料金調整額」でありますところ、当社のような大口の個別取引先の数値はこれと異なっています。

また、御遺体を1体火葬するのに、一定量のガスを使用します。

したがって、上記差額（一般家庭向けの原料価格調整額の上昇額）×（当社に適用される調整額／一般家庭向け調整額）×1火葬当たりのガス使用量が、当社において上昇した原価であり、この金額が当社に転嫁されています。

係数は、「（当社に適用される調整額／一般家庭向け調整額）×1火葬当たりのガス使用量」を勘案して当社が設定した数値であり、係数を算出する時点における当社に適用される調整額と一般家庭向け調整額の乖離の状況、1火葬当たりのガス平均使用量を考慮して、その数値を200と設定いたしました。

2 電気の係数

使用量は、1 遺体当たり、130kwh かけると考えています。

すなわち、東京電力ホールディングス株式会社が「燃料費調整単価一覧表（高圧・特別高圧）」を公開していますところ

（URL：https://www.tepco.co.jp/ep/corporate/adjust2/pdf/list_202302.pdf）、2021 年の各月の「高圧」の電気代の平均値は - 1.82 円であります。

もっとも、2022 年はこの価格が高騰しており、対象期間の調整費（例：2022 年 10 月 7.80 円、2022 年 11 月 9.39 円の場合、平均である 8.90 円を調整費とします。）との差額分、1kw 当たりの原価が上昇いたします。

したがって、上記差額（高圧の上昇額）×1 火葬当たりの使用量が、当社において上昇した原価であり、この金額が当社に転嫁されています。

係数は、上記を勘案して当社が設定した数値であり、係数を算出する時点における上記金額を考慮して、その数値を 500 と設定いたしました。

3 見直しの経緯

ガスの係数は、「（当社に適用される調整額／一般家庭向け調整額）×1 火葬当たりのガス使用量」を勘案して設定した数値でありますところ、昨今、一般家庭向けの原料価格調整額が高騰したことに伴って、当社に適用される調整額と一般家庭向け調整額の乖離が、係数を算出する時点におけるものと大きく異なることとなりました。

そこで、係数を、次のとおり改めました。

●変更内容

ガス : 東京博善係数 200 ➡ 80 ※見直し
電気 : 東京博善係数 500 ➡ 500 ※変更なし

第2 新たな料金体系

新たな料金体系を決めましたので次のとおり連絡いたします。

本サーチャージのありかたそのものにつきまして、来年度（2023 年 4 月以降）の取り扱いは、よりご安心いただけるよう、現在協議をすすめております。弊社は火葬事業については永続性と非営利性を重要視して運営しております。諸事情ご賢察のうえ、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 隔月の変動型・火葬料別料金(本サーチャージ)について

- ・火葬料金は従前通りです。

2023年1月吉日

- ・別料金は隔月の変動型とし、実施月の前月初旬に「翌2か月間の料金」をメール及びFAX、各斎場にてご案内いたします。
- ・ガス・電気各供給会社が公表する原料・燃料費調整単価に、弊社が設定する係数を乗じた金額を従前の火葬料金と併せて収受させていただきます。
- ・各供給会社が公表する原料・燃料費調整単価がゼロ以下の場合は、別料金はゼロとなります。

2. 2月、3月の料金、対象及び対象外火葬区分について

- ・【開始】2023年2月1日 ご火葬取り扱い分より
- ・【期間】2023年2月1日～3月31日の2か月間
※2023年4月、5月分は3月初旬にご案内いたします(隔月のご案内)
- ・【料金】12,200円 (非課税)
※今回、小人(満6歳以下)は一律6,100円とさせていただきます。
※(参考)旧東博係数をもとに算出した場合・・・20,100円。「前第一」参照)
- ・【対象】貴殯館、特別殯館、特別室、最上等、小型炉、献体
- ・【対象外】区民葬、減額・公費、古骨、部分体
(区民葬、減額・公費につきましては、今後調整をさせていただきます)
- ・【お問合せ】東京博善株式会社 運営部 TEL03-6374-8043

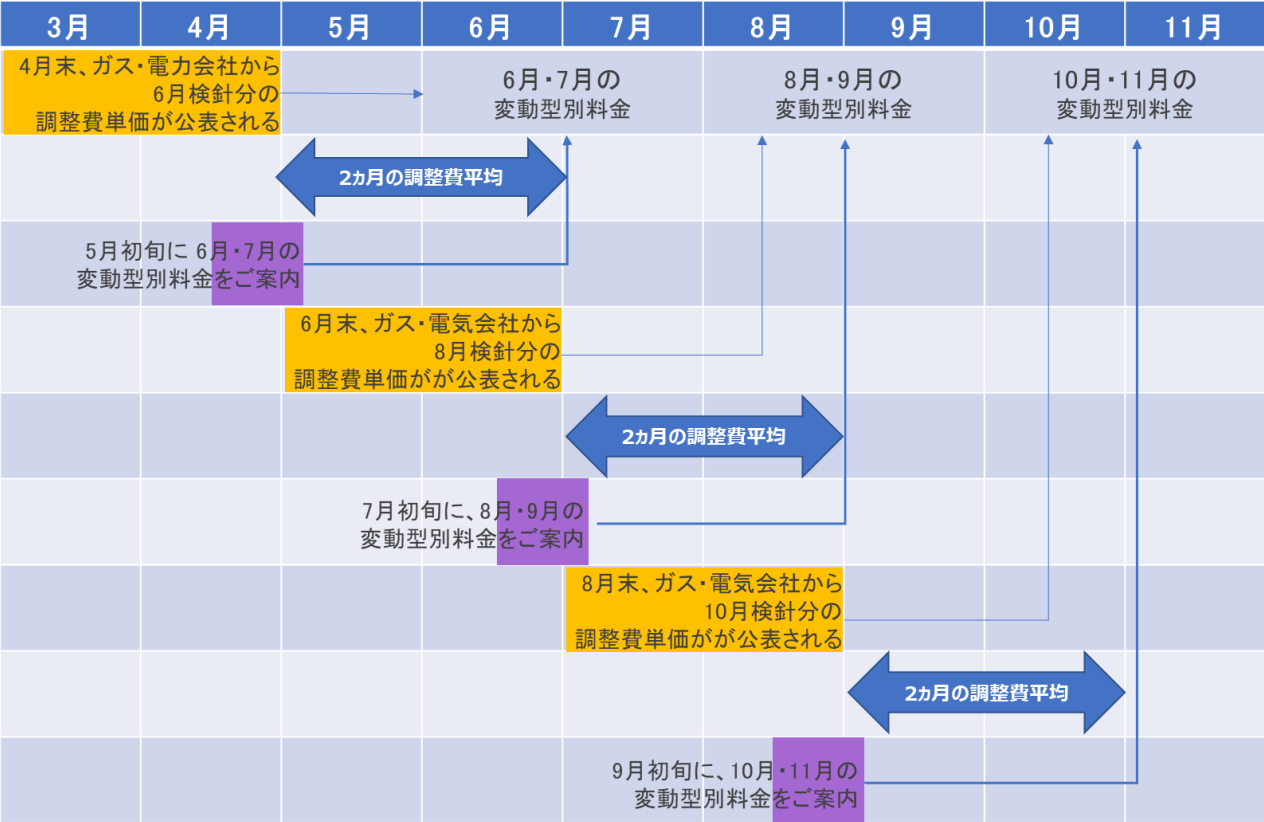
3. 算定数値の変更について

燃料費特別付加火葬料は、前項記載のとおり、ガス・電気各供給会社より公表される、「原料価格調整費の直近2か月の平均」と、「2021年度平均値との差」に弊社が設定する係数(「東京博善係数」)を乗じて計算されますが、その係数を見直しました。

以上

【ご参考】

「燃料費特別付加火葬料」のご案内フローイメージ



以降、同様

別料金の計算方法

- ① 昨年平均を基準値とし、② 対象期間の調整費額との差③に、④ 東京博善の係数を乗じる
- ① 昨年平均と④ 東京博善の係数は固定とし、対象期間が隔月毎に変化することで②が変わる
- 別料金は10円単位切捨て ※小人（満6歳以下）は半額

	21年度	21年4月	21年5月	21年6月	21年7月	21年8月	21年9月	21年10月	21年11月	21年12月	22年1月	22年2月	22年3月	21年度平均
ガス	原料費調整 単価（公表値）	¥-14.62	¥-10.25	¥-9.09	¥-9.18	¥-10.70	¥-7.58	¥-4.10	¥-1.16	¥1.51	¥5.16	¥13.98	¥21.38	① ¥-2.05
電気	燃料費調整 単価（公表値）	¥-4.17	¥-3.52	¥-3.18	¥-2.96	¥-3.00	¥-2.49	¥-1.97	¥-1.48	¥-1.05	¥-0.52	¥0.72	¥1.77	① ¥-1.82

	22年度	22年4月	22年5月	22年6月	22年7月	22年8月	22年9月	22年10月	22年11月	22年12月	23年1月
ガス	原料費調整 単価（公表値）	¥24.14	¥27.17	¥27.97	¥30.56	¥30.56	¥30.56	¥40.18	¥49.71	¥59.34	¥68.87
電気	燃料費調整 単価（公表値）	¥2.20	¥2.64	¥2.87	¥4.01	¥4.93	¥6.27	¥7.80	¥9.39	¥11.51	¥12.54

ガス 2月・3月 計算用単価平均値 ② ¥64.11
 電気 2月・3月 計算用単価平均値 ¥12.03

ガス 21年度 調整単価平均値と対象2ヵ月との差分（2・3月計算用）	③ ¥66.16	×	④ 80	=	¥5,292
電気 21年度 調整単価平均値と対象2ヵ月との差分（2・3月計算用）	③ ¥13.85	×	④ 500	=	¥6,925
			東京博善係数（固定）		¥12,217 （小人 ¥6,108）

2・3月の別料金

固定 ¥-2.05 0 隔月変動 ¥64.11

ガス料金隔月変動単価 ¥66.16（2・3月計算用）

固定 ¥-1.82 0 隔月変動 ¥12.03

電気料金隔月変動単価 ¥13.85（2・3月計算用）